

仙台市議会市政活動報告

仙台市議会議員 鈴木すみえ

令和7年 第1回定例会 予算等審査特別委員会
令和7年 第2回定例会 一般質問

2025年
夏号

鈴木すみえ
仙台市議会議員(若林区)

鈴木すみえ 質問 外国人との地域共生と多文化共生センターの強化

外国人技能実習生の妊娠・出産を理由とした人権侵害や孤立出産が問題となっている。市はこうした実態をどう受け止め、多言語対応の相談窓口の拡充など、相談体制を抜本的に強化すべきではないか。

郡和子 仙台市長

外国人の方々の不安に寄り添った支援は、ダイバーシティまちづくりを掲げる本市にとって大変重要です。外国人住民に最も身近な多文化共生センターの機能強化を図るとともに、雇用企業との連携も強めていきます。

鈴木すみえ 質問 外国人患者の受け入れと市立病院の対応

日本語での医療手続きに不安を抱える外国人住民が増えている中、市立病院が多言語対応や通訳体制を整備し、^{※1}JMIP認証を取得すべきではないか。

病院事業管理者

当院では、翻訳端末の活用や多言語対応、禁忌食材への配慮など、外国人患者に配慮した対応を行っています。^{※1}JMIP認証の取得は、現時点では考えていませんが、地域の医療機関と連携しながら、患者さんの文化や宗教に配慮した診療に引き続き努めてまいります。

鈴木すみえ 質問 国分町の客引き問題と対策

国分町での悪質な客引きが横行し、若年女性が搾取構造に巻き込まれる深刻な事案も報告されている。市は被害実態をどう把握し、相談支援体制を整えているのか。また、条例の見直しや、真面目な事業者を支援する「客引きゼロ宣言」などの取り組みを検討すべきではないか。

市民局長

いわゆるホストクラブの売掛金問題など、困難を抱える若年女性への支援として、大学等と連携して注意喚起や相談窓口の周知を行っています。今後は宮城県警察などと連携を密にし、啓発・相談支援を強化します。条例については、本年1月に禁止区域を拡大しており、現時点でのさらなる拡大は考えていません。客引きに依存しない環境づくりのため、客引きをしない店舗の紹介リーフレット作成や、街頭での啓発活動を行っており、今後も効果的な啓発策を企画・実行していきます。

鈴木すみえ 質問 パブリックコメント制度へのAI活用と対応

生成AIやSNSによる類似意見の大量投稿が全国的に問題化している。国が意見の数を重視せず、内容を精査する方針を打ち出していることを踏まえ、本市もAIを活用した意見分析ツールの導入や、体制整備を行うべきではないか。

市民局長

提出された意見は数の多寡にかかわらず、内容を公平・公正に精査し、計画に反映する運用を行っています。国がAIの活用を検討している動向を注視し、今後もパブリックコメントの趣旨に沿った運用に努めていきます。

鈴木すみえ 質問 農福連携とユニバーサル農園の推進

農業者と福祉事業所のマッチング支援や、農地取得の制度的支援が必要ではないか。また、街路樹のギンナンを活用した就労支援事業や、誰もが参加できるユニバーサル農園の設置を検討すべきではないか。

経済局長

農業者と福祉事業者のマッチング支援として、宮城県が設置するネットワークに参画し、個別の相談に対応しています。今後は、多世代が交流できるユニバーサル農園のような取り組みへの支援策を検討していきます。

健康福祉局長

ギンナンの収集・活用については、費用対効果や安全確保などの課題があると考えます。しかし、障害者の能力を生かすという観点から、農業を含めた連携先拡大のあり方について、他都市の先行事例を参考に情報収集を進めます。

鈴木すみえ 質問

がん患者支援と高額療養費制度について

高額療養費改正について、本市は制度凍結を国に求める考えはありますか。また、改正後の市民への影響はどのように考えていますか。

保険高齢部参事兼保険年金課長

改正により、治療を抑制することや症状が悪化することが懸念されます。本市は国の議論を注視しつつ、必要に応じて対応を検討してまいります。

改正によって受診控えや症状悪化が市の財政に与える影響についてはどう考えていますか。

保険高齢部参事兼保険年金課長

高額療養費制度を利用している一部の方々が受診控えをする可能性があるかと認識しています。

●仙台市のがん患者支援政策における乳房補正具補助事業について

2024年の第二回定例会で一般質問した「乳房補正具の購入費用」の助成事業が正式に開始!!

令和7年4月1日から令和8年3月31日に購入した全頭用ウィッグ・乳房補正具(人工乳房、パッド、ニップル)が助成の対象となります。

調査した結果、仙台市では令和7年度(2025年度)から「がん患者医療用ウィッグ・乳房補正具購入費助成事業」が正式に開始されました。



詳しくは「仙台市公式サイト」こちらをご覧ください。

事業の概要

仙台市は、がん罹患された方に対し、治療と就労や社会参加等の両立を支援し、療養生活の質の向上を図るため、がんの治療に伴う脱毛に対応する目的で購入した医療用ウィッグ及びがん治療に伴い切除した乳房を補正する目的で購入した乳房補正具の費用の一部を助成する新制度を創設しました。

この事業は、がん患者の外見(アピランス)への悩みに対する精神的なケアや生活の質を高める役割を担っています。特に乳房補正具については、がん治療(手術療法)により切除された乳房を補正するための人工乳房、パッド、ニップルが対象となり、患者の社会復帰や日常生活の質の向上を支援する重要な施策です。

制度の開始により、仙台市内のがん患者の皆さんが治療に専念しながら社会参加を継続できる環境整備が進むことが期待されます。

鈴木すみえ 質問

在宅療養と緩和ケアの体制について

独自のがん対策推進計画の策定を求めます。

健康政策課長

現時点で独自の計画は予定しておりませんが、県と連携しつつ、がん対策を進めてまいります。

NPO団体を含む患者支援の連携促進について、本市のお考え方を伺います。

医療政策課長

NPOや地域支援団体との連携が重要であると認識しており、他都市の事例も参考にしながら支援を進めてまいります。

★シェルターインクルーシブプレイスコパル視察報告★

仙台市においても子育て支援と地域共生を両立させるため、こうした包括的な場づくりの視点を取り入れていく必要があると強く感じます。



●施設概要: 2022年に山形市南部に開設された「シェルターインクルーシブプレイス コパル」は、年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが一緒に過ごせる「インクルーシブ」な公共空間です。

●特徴: 車いす用ブランコや五感を刺激する遊具など、インクルーシブデザインが徹底されています。運営にはNPOや地域住民、有償ボランティアが参加し、カフェやイベントも多数開催されるなど、多機能な運営が行われています。

●事業形態: PFI事業として整備・運営されており、官民連携で進められています。

●学びと展望: 筆者は、この施設から仙台市でも冬場に子どもが安心して遊べる屋内施設の拡充や、地域住民が参加する運営の仕組みづくりのヒントを得ました。

鈴木すみえ 質問

公立施設の給食における米の契約方式について

- 来年度予算に含まれている環境保全米の生産量が減少する可能性についてお聞かせします。
- 米の需給ひっ迫や価格高騰が続く中、生産者が増産を目指すよう、資材費に対するさらなる支援策を求めました。
- 後継者不足による農地の遊休化を防ぐための「農地中間管理機構」による農地の集積と、経営や技術の承継についてお聞かせします。
- 個人農家の後継者育成の重要性を強調し、特に若い世代や女性の新規就農者への支援強化を求めました。



農業振興課長

学校給食向け環境保全米の生産拡大に向けて、生産資材の差額補助や国の交付金活用に取り組んでいます。

- 肥料価格高騰への対応として、国の支援金に上乗せするなど、すでに支援を実施していると述べました。また、スマート農業導入支援を通じて、生産性向上と増産を図っていきます。
- 後継者問題については、個人から個人への承継よりも、農地の集積を図り法人等が承継する方向に力を入れています。
- 個人が事業承継する場合も、融資に対する利子補給や技術習得研修などを支援しています。
- 新規就農者支援については、性別を問わず担い手確保に努めており、先輩農業者との交流会や研修会などを通じて、ネットワーク作りも進めております。

連絡先

●仙台市議会議員 鈴木 すみえ

〒984-0057 仙台市若林区三百人町96-2

TEL: 022-797-0331 FAX: 022-797-0332

●市民フォーラム仙台

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

Eメール sumichan5963@gmail.com

